卒業研究Ⅰ

科目ナンバリング　THE-401
必修　　2単位

平沼　晶子

1. 授業の概要（ねらい）

私たちは生涯にわたり変化し続けていく。本演習ではこうした生涯発達心理学の視点に立ち、胎児期から老年期に至るまでの人間の様相を概観したうえで、各自が探究したい領域ごとにグループを編成して、文献や資料を収集して読み込む。そして、各グループで調べた内容を発表し、討議を行うことにより課題を見出し、問題解決のための理解を深めていく。

2. 授業の到達目標

①探究したいテーマに関する情報を収集して問題を発見し、分析・整理することで解決につなげる。
②発表に向けて資料を作成し、説明の仕方を工夫する力を身につける。
③グループでの検討、発表、および全体での討議において積極的に取り組み学びを深める。

3. 成績評価の方法および基準

授業参加態度（40%）、グループ研究活動・発表内容・研究発表のふり返り（60%）を総合して評価する。発表に基づき、ゼミ生同士での意見交換および教員によるフィードバックを行う。

4. 教科書・参考文献

参考文献
鈴木 忠ほか著　『生涯発達心理学』　有斐閣アルマ

5. 準備学修の内容

関連する文献や資料を読み込み、グループでの検討および発表に向けて積極的に準備を行う。

6. その他履修上の注意事項

関心のあるテーマの探求は大学生だからこそ得られる貴重な機会であり、自らの学びを深めていってもらいたい。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション：演習内容等の説明
【第2回】　関心のある研究領域の報告と自己紹介・グループ分け
【第3回】　グループごとに計画を立てる
【第4回】　文献・資料収集についてのガイダンス
【第5回】　発表の準備①
【第6回】　発表の準備②
【第7回】　発表の準備③（オンライン）
【第8回】　グループ研究の発表と討議①
【第9回】　グループ研究の発表と討議②
【第10回】　グループ研究の発表と討議③
【第11回】　グループ研究の発表と討議④
【第12回】　グループ研究の発表と討議⑤
【第13回】　グループ研究の発表と討議⑥
【第14回】　今後の研究に向けた立案
【第15回】　ふり返りとまとめ